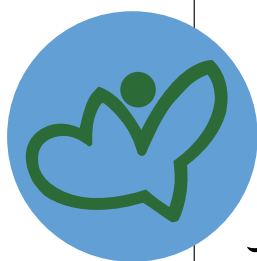




大串海水浴場 海開き



平成24年 6 月定例会

6 月定例会・臨時会	2
.....	
議員が一般質問	3～9
.....	
委員会報告	10～11
.....	
報告	12
.....	
視点・論点	13
.....	
あれからどうなった・編集後記	14

おおさきかみじま 議会だより

第37号/2012年 8 月 3 日

大崎上島町議会

☎ (0846) 6 5 - 3 1 3 0 (直通)

FAX (0846) 6 5 - 3 1 1 7

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL: <http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

第2回定例会(6月議会)

大崎上島町議会は、平成24年第2回定例会を6月21日に開催した。

8名の議員の一般質問に始まり、1件の人事案件、4件の条例改正案、一般会計及び特別会計の補正予算、2件の工事請負契約の変更について審議を行い、全て全員一致で可決した。

決まった主なこと

○教育委員会委員の任命の同意

氏名 長尾 源一 氏

住所 木江5090番地

任期 平成24年7月1日から平成28年6月30日まで

○大崎上島町古田奨学金基金条例の制定

中野の古田光宗氏よりご寄附いただいた5000万円を奨学金として活用するための条例の制定

○大崎上島町子育て定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の制定

中野にある買い上げた警察官舎を子育て世帯を対象にした専用住宅として活用するための条例の制定

○補正予算

一般会計…1億1053万円を追加し、総額77億939万円としました。

第2回臨時会

平成24年4月25日第2回臨時会が開催され、全ての案件を全員一致で可決した。

○専決処分

大崎上島町税条例の一部を改正する条例

大崎上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○補正予算

一般会計補正予算は歳入・歳出それぞれ552万円を追加し、総額を75億9886万円としました。

奨学金貸付事業の追加予算です。

○工事請負契約の締結

大崎浄化センター建設工事 1億2000万円。

一般質問

町政を問う

8人の議員が15項目を質問



あかまつ よしお 議員
赤松 良雄

質問（赤松議員）

2009年公文書管理法が施行され地方自治体には文書管理の効率化、情報の透明さの確保が要求されている。国民の利用に供するとともに後世に伝えていくことが重要な課題である。国は公文書館制度の充

問 公文書管理は

答 手引書を作成し研修する

実・強化を図るための取り組みを推進している。

全国的には地方自治体での条例制定は遅れ、大崎上島町も制定していません。県内では安芸高田市で条例制定している。情報公開条例と関連し町民に対する説明責任がある。条例がないため、公文書等

に関する事務処理方法や公文書等の整理・保管・保存・廃棄等の管理の必要な基準等が十分でない。管理の方法・研修・電子化・廃棄する時の選別方法・会議録の作成は。歴史的な資料の管理は他自治体であれば専門職に委ねられているが。

答弁（総務課長）

事務取り扱い規定で運用していたが昨年度システムを導入し改善した。公文書処理・廃棄・共有が充分明確になっていないので手引書作成と研修を行う。歴史的な文書は県立文書館に助言を求める。条例に基づき会議録作成をおこなう。

問

旧町の学校資料の管理と活用は

答

活用を検討する

質問（赤松議員）

大崎上島町が合併し9年が経過し旧西野小学校や旧3中学校の資料は旧木江中学校に保管している。その資料の管理状況と活用方法は。

答弁（教育長）

職務上取得作成した文書など法に定められたものと昔の卒業文集・アルバムなど資料を保管、活用は考えていなかったが、今後活用は検討する。教育の歴史資料はもう一度整理し保管する。



本庁3F 書庫

問

第一次行政改革の成果は

答

全体的な見直しを行う必要が課題



議員 茂 松原 まつばら しげる

理者制度を導入した。計画的に職員の削減をし、平成22年度当初には27名の削減を達成。平成20年度に36係を31に統合。平成24年度は16課を13課に31係を26係にして組織の活性化と効率化の運営に努めている。

質問（松原議員）

行政改革推進委員会の答申の結びに「より効率的、機能的、緊急性、重要性を総合的に勘案した進行管理に徹し、健全財政を堅持しながら着実に実施されますことを申し添えます。」とある。どのような成果が出たのか、また検証は。

答弁（副町長）

成果として既存の町営施設4施設に指定管

答弁（副町長）

第1次の成果と課題を踏まえ、基本的な視点である効果的、効率的な行政運営、2点目が持続可能な財政基盤の確立。3点目が住民との協働のまちづくりに基づき、事務事業等の見直しなどの取り組みを集中的に進めて参りたい。

質問（松原議員）

今年度から28年度までの5カ年の第2次計画書が出ている。特徴として行財政刷新室を設け、集中的に取り組む意気込みと受け取ってよいか。



大串干拓地

問

大串干拓地の活用は

答

民間会社の進出話を検討中

質問（松原議員）

ここは約70町歩の町有地、要するに町民の共有財産である。今後の土砂搬入計画はあるか。海水浴場整備は復活するのか。合併時に作成した利用計画で残っている事業、今後の有効活用をどのように進めるのか。

答弁（企画振興課長）

公共事業における残土処分を進めており新たな計画はない。残容量は23万9千立方メートルで、あと12、3年かかる。利用計画については国の補助、国及び県の交付金などを財源に実施している。現在、民間会社から活用に関する話もきている。

県の農林水産局を初め県内投資推進課へ利用可能地として情報提供をしており、民間活力に期待をしている。

答弁（産業観光課長）

外浜海岸は平成17年の整備計画で農地転用の許可を得て雑種地に地目変換、後背地が農地でない。費用対効果が出ない、県の財政悪化などで取りやめとなっている。外浜海岸は今後とも貴重な海浜である大串、外浜海岸をより利用する為の改修は県に機会あることに要望していく。

質問（松原議員）

県の仲介により検討中のことだが、情報を開示し町益を損なわないようにして頂きたい。

答弁（企画振興課長）

今後しっかり検討していく。

問

消火栓等の整備と初期消火について

答

緊急を要する箇所から整備する



議員 前田 太 夫 司

付着で鉄蓋の開閉が困難なものがあり、ボールや木槌の配備が必要だ。道路のかさ上げで深くなり、ホース金具の結合離脱に不具合な箇所もある。迅速な初期消火のために消火栓の整備を求める。

質問（前田議員）

屋内外消火栓に配備されたホースは、消防法で製造後10年経過したものは耐圧試験を実施し、漏水等のあるものは交換が必要だが、漏水や劣化の著しいものが多く、初期消火に能力が発揮できない。一般町民にも取り扱いの容易な小径のホースに順次変更すべきだ。屯所やポンプ積載車のホースについてはどうか。

答弁（総務課長）

積載車や消火栓の消防ホースは、消防法の基準がそのまま適用されないが、準用して考える。町配備の消防車両は26台で、各10本必要とすると260本だが、毎年40本補充しているので、必要な交換はできている。町内には約400ヶ所の消火栓があり、費用面から緊急を要する箇所から交換する。ハンマー等の設置も検討する。消火栓への結合が困難だと要望がある箇所は対応していきたい。



消火栓ボックス



問

生活保護受給者の自立支援について

答

個々の事情に応じた対応策をたてる

質問（前田議員）

昨年も質問をしたが、生活保護制度は生活困窮者に対し不可欠な施策だ。自立助長も目的とし、「訪問調査をし、就労指導も行う。個々に応じた自立支援策を実施する。受給者にとって社会参加までは困難」との答弁だった。奉仕活動等の参加は勤労の喜びや意欲を回復し、町民の一部にある、勤労者より良い生活ができるという不公平感の解消につながる。実際に夫婦が最低賃金で働く収入は標準的受給者と同等だが、税・医療費・住居費等々の免除はない。この1年間の取り組みの成果は。また勤労に徹した国民年金受給者は同等の文化的生活は可能なのか。

答弁（福祉課長）

本町の被保護世帯のほとんどが高齢者・障害傷病者で、就労自立はほとんど不可能だ。高齢者世帯には健康的な自立生活を支援、施設入所者や長期入院者へは居宅生活復帰と維持向上のメニューと多彩で、就労支援だけが自立支援ではない。この一年で生活保護の廃止は1件だ。訪問調査すると、本町には生活水準の逆転はないと思う。国民年金だけでは、例えば医療費がかさむと大変だし、生活保護申請があれば対応する。



ふじわら たつひで
藤原 龍秀 議員

問 行政改革推進計画の進め方は

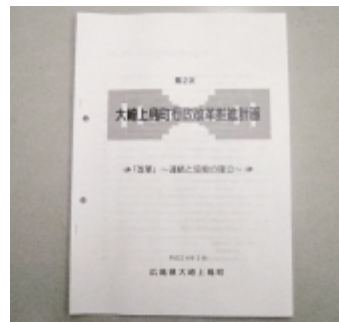
答 今年度は実施計画を作る

数を減らす計画だが、課の再編は考えているのか。

答弁（町長）

計画の各項目で年度ごとの重点的取組を定める。今年度は実施計画を作ると同時に職員一人一人の意識改

革や政策形成実施能力を高める事を取り組む。計画の周知については、色々な機会を通じて積極的に行う。現時点での課の再編は考えてないが、必要に応じて組織の見直しをする。



行政改革推進計画書

問 映画のロケをどう生かす

答 松竹に協力のお願いを

質問（藤原議員）

五月十六日から「東京家族」の撮影が行なわれた。また、NHKが山田洋次監督の密着番組を制作し、その中で何故大崎上島が選ばれたか探っており、大崎上島をアピールしてくれている。このことを町としてどう生かすつもりか。

答弁（町長）

この映画は何十年も名作映画として繰り返し観られて、大崎上島がアピールされると期待している。どう生かすかは今、民間の方や商工会も含めて、要望がまとまれば松竹の方へ協力をお願いに行く。また私達の町の施設整備もしっかりやっていく。



よしだ けんいち
越田 賢一 議員

問 乳幼児医療費の助成拡充を

答 子育て支援全体の中でトータルで検討する

医療費の助成というのは安心、安全な暮らしを送る為には欠かせない。

病院に通うのにもフリーに乘らないと行けない島という不便性からも、県内一の充実した乳幼児医療

費の助成を考えると、町としての考えは。

答弁（福祉課長）

確かに乳幼児医療費の助成という一事業だけみると、県内では一番低いところ

である。しかし、本町では他市町にはない独自の子育て支援手当支給事業という就学前の乳幼児一人につき月額五千円支給している。子育て支援事業はそのまま、乳幼児医療費の拡充は難しい。

質問（越田議員）

現在、大崎上島町では就学前の乳幼児医療費を助成しているが、これは県内最低レベルだ。

子育て世代にとって

質問（越田議員）

就学前の子育て支援は充実しているかもしれないが、それより上の子育て支援は何もできていない。

乳幼児医療費の助成は全国的には十八歳以下というレベルまで来ている。すぐにでも拡充すべきでは。

答弁（福祉課長）

子育て支援等含めたトータルで検討していきたい。



わたなべ のぶのり
渡辺 年範 議員

質問（渡辺議員）

軽自動車の車検を受けるには町の納税証明書が必要だ。町が奨励している銀行振り込みですれば、納税期日4月30日に銀行決済され、町より納税証明書が送られてくるのはそれから20日過ぎたところになる。この間車検が受けられないことになる。

「する」とのことである。手間を省くための銀行振り込みが、かえって二度手間になるのは納税者側としては納得がいかない。この間の納税期間の延長か、銀行への電話での確認なりではないのか。

答弁（税務課長）

口座振替の場合の納税証明書は、金融機関からの報告が届いた後、収納管理システムにより納付確認後、納税証明書を発行することになっている。

答

すべきでない

納税証明期間の延長は

金融機関からの報告も2営業日が必要なうえ、5月の連休を挟むので余計に期間がかかるのが実情だ。納付が確認できない場合は発行できない。

答弁（町長）

車検は1か月前から受けられるので協力願いたい。





かんだ だいすけ 議員
閑田 大祐

問 路上に茂る木の伐木を

答 予算内で有効に行う

質問（閑田議員）
道路の維持管理業務では、側溝や路面に堆積する土砂・落ち葉などの除去を行うが、路上に覆い茂る樹木の伐木はしないのか。通常、

土地の所有者が管理するのが原則だが、高齢化も進み、それを求めるのも難しい。伐木しておけば、維持管理業務のコストダウンにも繋がるのではないか。

答弁（建設課長）
町道は現在、433路線、延長は176kmあり、年間の維持費は当初予算700万で小規模修理や清掃及び支障樹木の伐採を行っている。法令上の基準をもって、

必要最低限度で行うこととしている。限られた予算で有効な維持管理が出来るよう努力する。

問 奨学金制度の拡充を

答 しっかり検討・議論したい

質問（閑田議員）

奨学金として活用して欲しいとのこと好意により、町に5,000万円の寄付があった。基金条例を制定し、貸与型の奨学金として活用されると思うが、従来から実施している奨学金の予算については今後どのようにすべき

と考えているか。

将来町に帰ってきて、地域を担おうとする志のある若者に対して、給付型の奨学金制度を設けても良いのではないかと思うが。

答弁（教育長）

教育委員会としては、奨学金に応募する全ての子供に貸与したいと考えるので、

基金を別に考えて従来どおりの奨学金予算を請求したい。

将来大崎上島町に帰ってきて、町を担う優秀な人材を育てるという観点で、給付型も良いと思うが、制度や町の財政事情、人材育成の方針も含め、慎重に協議したい。



古田光宗氏に感謝状授与



路上に茂る樹木





のぶたに とし き
信谷 俊樹 議員

問 後発薬普及は

答 被保険者への差額通知を検討している

質問（信谷議員）

国民健康保険加入者を対象に後発薬医療品に切り替えた場合の差額が医療費削減、保険税の負担軽減になるのではないか。

病名や薬剤情報を現在処方されている先発医薬品と同等の効果を

持つ後発医薬品がある場合、先発薬の負担額と後発薬への切り替えによって削減できる金額を記した通知書を送る事で国保加入者の次の保険税引き上げ抑制につながるのではないか。

国保制度の安定運営を行なうには医療費の適正化が必

要だ。患者経費負担の軽減や国民健康保険財政の改善を図る観点から、後発医薬品をお願いカードの全被保険者への配布を平成22年3月の被保険者証の更新時に実施した。後発医薬品へ変更した場合の被保険者への差額通知については、負担軽減や国保財政の改善が図れるので、今年度中の実施に向けて検討している。差額通知の方法としては、広島県国民健康保険団体連合会の国保事務共同処理事業として実施する予定だ。

答弁（保健衛生課長）

加入者の一人当たりの医療費が県内でも上位の中で

国保制度の安定運営を行なうには医療費の適正化が必

問 奨学金の運営状況は

答 適正に対処している

質問（信谷議員）

①現在、何人が利用しているか。

②償還は順当に行なわれているか。

③遅延者の人数と金額は。

④遅延者の対応はどのよう

に。

⑤償還方法は。

答弁（教育委員会総務課長）

①新規貸し付けと貸し付け継続中を合わせて69人。

②償還人数は173人で一部の人の償還が遅れてい

る。

③遅延者は15人で遅延金は330万円。

④督促方法は電話、手紙、面接で行い償還が進むよう

⑤半年毎の償還なので、3月と9月末の納付期限1



ジェネリック医薬品お願いカード

減や国保財政の改善が図れるので、今年度中の実施に向けて検討している。差額通知の方法としては、広島県国民健康保険団体連合会の国保事務共同処理事業として実施する予定だ。

月前に納付書を送付し、口座引落については、金融機関で期日に間に合うよう手続きしている。納付書による窓口現金支払いが107名で、口座引落しが66名。

問

メガ・ソーラ計画への取組みは

答

積極的に取り組んでいく

質問（信谷議員）

メガ・ソーラ計画は現在どのように考え、対応をしているのか。

答弁（町長）

メガ・ソーラについては、積極的に取り組みたいと考えている。現状の地盤については、提案書を出したいと言う業者が現在の地盤高で設置できるとしていることなので問題ないと考えている。設置予定面積ですが5ヘクタール位を考えている。

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：赤松良雄 副委員長：越田賢一
委員：西田 巧 中村修司 関田大祐
藤原龍秀 辰田真司

委員会での主要な調査・協議事項及び、継続審議した内容と事業内容を報告します。

県会議長・県知事・教育長 に対し要望書

4月11日に県庁において森川家忠県議同席のもと県議会、県知事、県教育長に対し以下の項目について要望を行いました。

- ① 高校再編整備基本計画の慎重な取り組みについて
- ② 介護保険事業の見直しに

ついて

③ 地域医療の充実について

要望に対し県からは「① 高校再編は慎重に行い、教育課程と中高連携は地元協議し取り組む。② 介護保険は国の縛りで見直しは困難。③ 県立安芸津病院のMRI導入は経営赤字と利用者が少ないため導入はできない。ドクターヘリは15年度より運用し、迅速な救急活動をおこなう。今後、多く人が利用するよう現在のヘリ運用規定を見直す。」と回答がありました。



県への要望活動

南海トラフ巨大地震津波予測について

気象庁による大崎上島町における想定される数値は、震度は6弱で津波高は1、2m、津波の最短到達時間は2時間44分で、潮位（CDL）は試算では4・95mとのことです。

大地震発生時には安全のため高台に避難してください。

子育て定住促進住宅の設置条例

県から購入した向山横浜住宅（旧警察官舎3DK8戸）を子育て世代の支援と定住促進を目的とした住宅として、家賃3万5000円で入居募集をします。高校生以下の扶養1人につき50000円を月額家賃から控除します。（上限2万円まで。）

8月から入居できるようにします。

奨学金寄付

元教育長の古田光宗氏から「将来を担う子どもの教育と人材育成のために」と5千万円を寄付していただきました。

町は今まである国光奨学金基金と別に、新たに古田奨学金基金を新設。

現在委員会では今後の奨学金のあり方を検討しています。

県の未来創造支援事業

過疎地域等自立活性化推進事業の国の補助金が1000万円付きシーカヤック購入費などに充当します。

企業業績悪化により

予定納税還付

経済環境の悪化により町内の法人経常利益1社が大幅に減となり1600万円還付します。

協働のまちづくり事業

地域に継承してきた伝統文化を後世に伝えるために権伝馬整備・交流・体験の事業を財広島県市町村振興



権伝馬体験

協会に申請していましたが、助成金200万円が決定し権伝馬整備280万円の一部に当てます。

がん検診・特定検診

今年度のがん検診・特定検診はおおむね昨年並みの受診となっています。

もっと多くの人の受診を。

障害者及び

高齢者福祉施設整備

昨年からの工事をしていた障害者等施設は6月6日に町に完了報告が提出され、町は補助金1億7657万円（建物）を決定しました。5月1日よりサービスを開始しています。

産業建設常任委員会報告

委員長：信谷俊樹 副委員長：浜田明利
委員：松原 茂 濱中国雄 前田 太
蒨田篤雄 渡辺年範

平成24年度4月から6月まで4回の委員会を開き各課の事業計画内容と補正予算の説明を受け審議を行いました。

◆建設課

24年度は渡船「さざなみ」の老朽化に伴う新造船の建造準備や町営住宅建築の検討などの事業が計画されており後世への負担とならないように計画を進めています。町営住宅家賃の滞納については、滞納整理が十分



さざなみ

とは言えず、積極的に滞納者と面談を行い滞納整理に取り組むよう求めました。土砂搬入に伴う土壌検査等の実施については、条例や施行規則に基づく工事の施工状況、搬入土の土質検査、排水の水質検査などを求めるなど、周辺住民の不安解消を図る為にも適正な検査を実施すべきだ。搬入土砂の検査については営農するのだから安全・安心に配慮した対応をするよう提言をしました。

港湾施設の放置車両については、警察と協議をしながら対処するとの事です。

◆産業観光課

24年度からの新規国庫補助メニューの新規就農者育成交付金事業が実施されます。事業内容は、経営リスクを負っている新規就農者の経営が軌道に乗るまでの期間、新規就農者にたいして青年就農給付金を支給して生活を支援する制度です。支給対象就農者の選定は、大崎上島地域農業振興協議会の地域プロジェクトワーキング会議で決定されます。プロジェクトの目指すところは大崎上島町の農業の柱となる「柑橘農業の再生」「施設野菜栽培の生産量拡大」「果樹栽培・野菜栽培の促進」です。

緊急雇用対策基金事業の観光振興事業（商工会委託事業）は今年で3年目になるので成果等実績報告を提出するように求めています。水産業の振興策は町としても重大な懸案事項であり、委員会との連絡を密にして、水産振興につながる施策の実施を行うよう提言しました。

◆上下水道課

平成24年から町内の簡易水道事業（現在4事業）の統合事業が始まり平成26年度で完了する予定です。公共下水道事業は平成24年度で大崎浄化センターの汚泥脱水施設整備を日本下水道事業団との協定により実施します。

また公共下水道及び漁業集落排水施設の老朽化に伴う施設の更新については、平成25年に更新事業計画を策定し平成26年度以降事業を実施する予定です。



大崎浄化センター

交通事故による原下2号マンホールポンプ制御盤復旧は損傷が酷く金属疲労がいつ発生するかわからない状況なので、事故原因者と補償契約書を交わし工事に入る予定です。

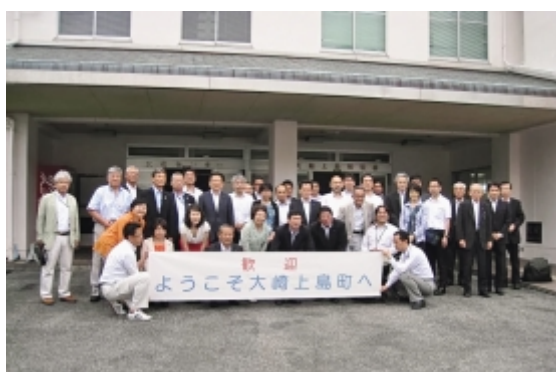
平成24年度の小型合併浄化槽の補助申請が当初予算枠いっぱいとなったため9基分の予算が6月補正で計上されました。

各事業実施の際は、住民からの苦情、トラブルが発生する前に監督員が適正に指示するよう提言しました。

友好都市 武蔵野市議会議員団来町

7月5日、本町の友好都市である武蔵野市議会議員団の表敬訪問を受けました。本町玄関前で記念撮影の後、歓迎式典を開催。

辰田真司議長、高田幸典町長の歓迎あいさつの後、武蔵野市議会議員団を代表し、きくち太郎議長からあいさつを受けその後、出席者の自己紹介、交流を行いました。



庁舎前で記念撮影



神峰山にて

6日午前中は町内を視察。幸いにも当日は天候にも恵まれ、神峰山では風光明媚な瀬戸内海の多島美を、大串海水浴場では1kmに及ぶ砂浜に自然を満喫されていました。

また、特産品のブルーベリー農園、きのこセンターを視察し、最後に島の文化と古建築の魅力を再現した「海と島の歴史資料館」大望月邸を見学、壮大な姿に感動され、帰路に着かれま

した。

今年10月には大崎上島中学校の修学旅行での商人体験が、武蔵野市に場所を移し実施されます。

市議会議員団からは力強い支援の言葉をいただきました。

メガソーラー施設視察（福山市）

3月26日、議会では、メガソーラー施設誘致の可能性を探るため、中国電力（株）福山太陽光発電所を視察し、施設の概要、運用状況について説明を受けた。



福山太陽光発電所の規模は太陽電池設置面積が4・5ヘクタール、出力は300kWで年間発電電力量は368万kWhで計画。現在、月30万kWhで順調に推移しているとのこと。

また、福山からの帰路、2か所の観光直売施設を視察。福山市沼隈町にある「アリストぬまくま」では旧沼隈町の施設として建設。運営は町、漁協、農協、商工会で運営会社を設立。出荷登録者数は417人で常時



みはら神明の里



アトリスぬまくま

200人程度が出荷しているとの説明がありました。24日にオープンした「みはら神明の里」では地域の農産物、水産物、特産品が販売され、多くの来客で大盛況でした。

視点・論点

五月十六日から二十一日まで、映画「東京家族」の撮影がありました。そしてNHKによる山田洋次監督密着番組の撮影も行なわれました。いづれも大崎上島の魅力を全国に発信してくれるでしょう。

何故大崎上島が選ばれたかはよくわかりませんが、我々島民が気づいていないところ、わからないところに魅力があるのではと思っています。NHKが取り上げてくれるので放送を待ちたいと思います。



撮影風景

撮影の期間は、島外から見物の人が来られています。NHKの番組が放送され、映画が封切られれば、今まで以上に来島する人が増えることが十分予想されます。我々島民にとっても嬉しい事ですし、観光振興のチャンスです。来島された方に島の魅力を十分アピールし、リピーターとなってくれたら最高です。そのためには、来島者に楽しんでもらえるような施設整備、観光拠点の整理、洗い出しが必要だと思います。一方で、山田監督は映画の撮影があつたからといって、それまでの生活や風景を変えないで下さいと言われたそうです。今まで色々なところで映画を撮られた監督が、その後あまりにも観光化されて本来のよさを見失つたところを見られたからかなと想像しています。私の考えでは、一番の観光資源は「島民」だと思います。せっかく島に来て対応が悪ければ、もう来島したくないと思うし、その

逆もあるでしょう。島民のもてなしを前面に出して成功した島もあります。施設整備は必要ですが、監督の言われた事を頭におきながら事を進める必要があると思います。観光は流行があります。ブームは何年も続かないかもしれないあとを思える島を皆さんと一緒に考えつくっていきましょう。



木江港の風景

議員研修報告

5月25日、広島県町議会議員研修会が開催され2本の講演がありました。

大塚康男講師の「議会人の危機管理」と題した講演では、議会・議員のあるべき姿、議会基本条例制定や通年議会に向けた動きについて提言がありました。

また「広島を変える！地域ブランド戦略」と題した田中章雄氏の講演では、今日のブームは特産品・食・体験であり、ご当地グルメの人気はただおいしいものを食べるのでなく楽しんで食べるから。体験イベントでは体験することにより数倍の魅力を感じることが人気の理由である。これからは他の町にない特別な物、味がブランドになる。

1自治体で取り組むのではなく、近隣市町と連携した観光客誘致が地域ブランドの構築につながると提言がありました。

お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合は、

ホームページの注目記事「〇〇議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。

※議会中継録画は9月からご覧いただけます。



研修風景

追跡 あれからどうなった

平成22年6月定例会一般質問から

質問

県立安芸津病院の充実と存続への対応策は

回答

病院の充実と存続に向け取り組む。

その後の経過

総務福祉文教常任委員会との意見交換の際、MRIの整備について代替医療機器（高速マルチヘリカルCT）もあるので、病院としては対応しない。

また、昨年に引き続き今年6月に県病院主催の医療公開講座を町内で開催した。病院存続には利用率を高めることが必要であり町民の理解を得ることにより、身近な病院として一層の利用増加を目指す。

また、竹原市内での婦人科検診の廃止に伴い、竹原市などと共に婦人科診療日の拡張を求めている結果、

今年7月より月2回の診療が毎週の診療となった。



医療公開講座



質問

安芸津港栈橋への救急艇の接岸を最優先に

回答

関係機関と協議する。

その後の経過

東広島市に安芸津港栈橋に接岸している船舶の所有者との調整をお願いし、いつでも救急艇が栈橋の片側に接岸が出来るようになりました。これにより救急患者の輸送時の救急艇の接岸も支障なく行えるようになり人命優先の観点から安心をしています。



救急艇

編集後記



長島の沖で、十数頭のスナメリの群れが回遊。春の海に、戻ってきたイカナゴの大量。

大潮の干潮時に、海面を覆いつくすアマモの群生。こんな光景に、海の地力の回復を感じ、嬉しくなっています。

島の財産である豊かな自然環境を守り、次世代へと引き継ぐことは大切ですが、易しくはありません。

行政が揺らぐことのない信念を持たねば、いとも簡単に生活環境が犠牲



アマモ

にされる事例もあり、しっかりしなくてはと思う今日この頃です。

さて、6月議会から始まった生中継はいかがでしょう。私たちも議会本来の機能を高める契機に思っています。

一人でも多くの皆様の視聴をお願いします。

(N・S)

議会広報委員

委員長 渡辺年範
副委員長 閑田大祐
委員 濱中国雄
中村修司
越田賢一
蒔田篤雄

議会傍聴を
してみませんか。
次回の定例会は**9月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。